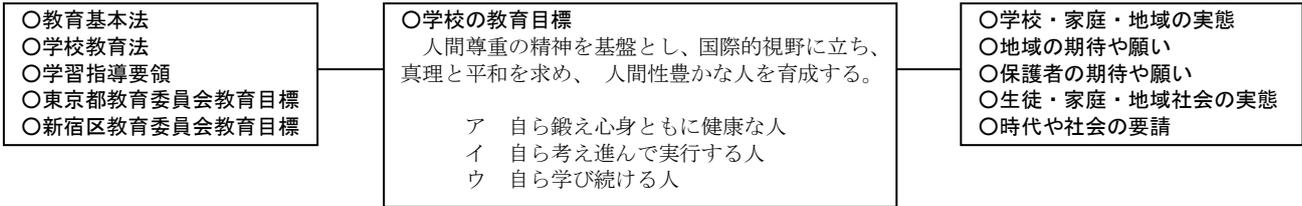
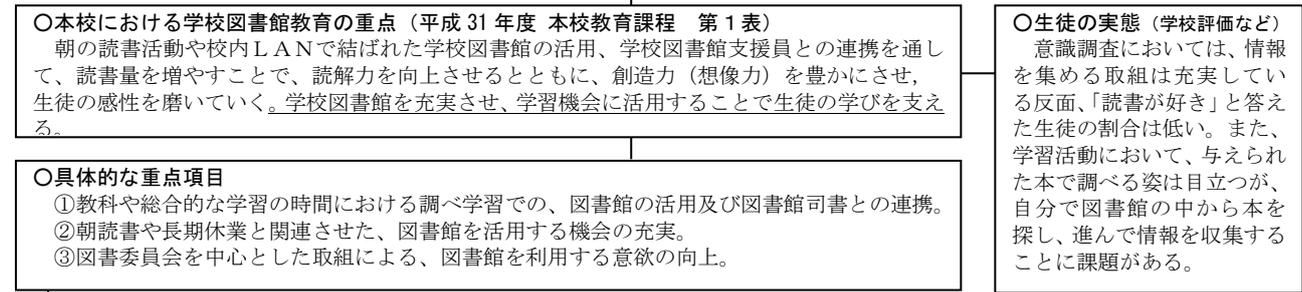


平成31年度 新宿区立西新宿中学校 学校図書館教育 全体計画



○学校図書館教育の目標（『学校図書館法』平成27年6月 一部改正）
この法律は、学校図書館が、学校教育において欠くことのできない基礎的な設備であることにかんがみ、その健全な発達を図り、もって学校教育を充実することを目的とする。この法律において「学校図書館」とは、図書、視覚聴覚教育の資料その他学校教育に必要な資料を収集し、整理し、及び保存し、これを生徒及び教員の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に寄与するとともに、生徒の健全な教養を育成することを目的として設けられる学校の設備をいう。



○具体的な重点項目

- ①教科や総合的な学習の時間における調べ学習での、図書館の活用及び図書館司書との連携。
- ②朝読書や長期休業と関連させた、図書館を活用する機会の充実。
- ③図書委員会を中心とした取組による、図書館を利用する意欲の向上。

○各学年・E組における具体的な確かな学力の育成の重点（経営案）

1学年	女神湖移動教室の事前学習、事後学習や職業インタビュー、東京探訪での東京の歴史や建物、人物などについての調べ学習など、総合的な学習の時間を中心に、図書館を活用する。
2学年	朝読書時間中に読む書籍を、学校図書館にて借りることを推奨する。また、自宅に持ち帰り、家庭で読書する時間を作るように指導する。さらに、学校図書館の利用が多い学年でもあるので、学校図書館利用におけるマナーについても、重ねて指導する。
3学年	修学旅行において、京都、奈良の歴史と文化について調べ、調べた内容を互いに共有してから行事を実施することで、歴史・文化への想像力を高め、行事をより充実したものにさせる。また、卒業論文のテーマ決めにおいて、自分の興味があるテーマに合う本を見つけ、それをもとに論文の内容を組み立てさせる。
E組	国語や生活単元で、図書館の活用方法を学び、図書館でのマナー身に付けさせるとともに、読書への意欲を高めさせる。また、総合的な学習の時間における調べ学習で、図書館を活用する。

○各教科における具体的な確かな学力の育成の重点

国語	文章や資料を読む際に、辞書を活用して語句の意味を調べるさせるとともに、話したり書いたりする際に、目的に応じて、文献から情報を集めさせる。	美術	作品のアイデアを見つけるために図書館での資料探しを促す。
社会	調べ学習において情報収集の際に資料を適切に選択し、活用することができる力を養う。	保健体育	スポーツの起源やルールの確認、スポーツ傷害、オリパラ等について、グループで調べ学習を行う。
数学	学校図書館の機能を活用し、生徒の主体的な学習活動や数学に現れる人物や定理を調べる。	技術・家庭	情報に関する技術の内容の中で、インターネットと利用して調べることと図書館を利用して調べることについて、実際に取り組みながら、長所・短所など比較検討し、評価する。
理科	自由研究を行う中で、テーマ設定や考察をまとめる際に、関連した資料を集める。	英語	日本文化、世界情勢（温暖化、貧富の差等）についての調べ学習を行う。それを英和辞書、和英辞書、英和辞書を活用し簡単な英語にまとめ、自分の意見を添える。
音楽	想像力を高め、感性を磨くために、音楽家の背景、楽器の歴史、自分の声などの知識を深めるための調べ学習を行う。		